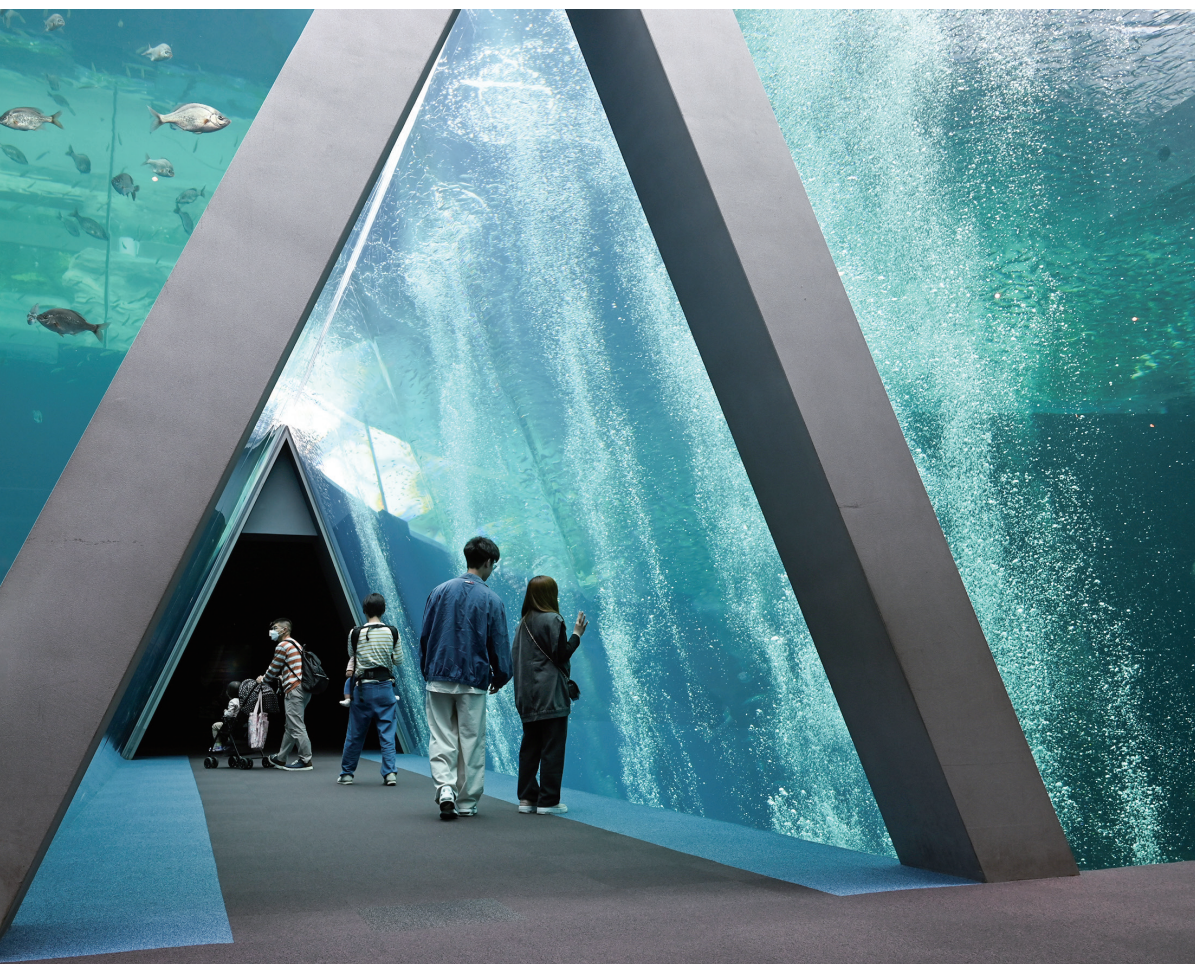


# 学べるトラベル

07



## アクアマリンふくしま



←「タッチプール」蛇の目ピッチ」では、海の生き物に触れられる



←「生きた化石」シーラカンスの標本展示

「うわー」。水槽をのぞきこむたび、子どもたちが明るい声を上げる。

ここは、「アクアマリンふくしま」の愛称でおなじみ、ふくしま海洋科学館。昨年の年間来場者数は約五十五万人で、市内三番目の入り込み数となる。観光施設だが、出前授業などの教育普及活動、調査研究、保全も大きな柱。

環境に優しい次世代の育成などを目指す「環境水族館」を宣言し、子どもたちに対する啓発拠点の構想も策定中。魚類を中心に哺乳類や鳥類など八百種、六万点ほどを展示している。

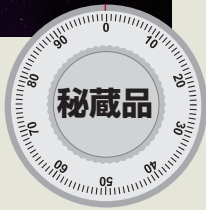
二〇〇〇（平成十二）年七月に開館。海洋性レクリエーション・ゾーン整備の必要性が提起される中、県教委が所管し、約百五十六億円を投じて建設した。県教委が設置者となったのは、全国唯一。

敷地面積は、東京ドームを優に超える五万六千方メートル。施設は四階建て、延べ床面積約一万八千方メートル。ドーム型のガラス屋根から陽光を取り入れ、本来の自然環境を再現している。





開館当初から展示を行い、世界で初めて水槽内の養殖に成功。現在は約400匹を展示。食卓ではお目にかかれない「ウロコ姿」が見られる。同館では、養殖技術の確立へ、研究機関との連携も



サンマ

アクアマリンふくしまデータ

- 住所=いわき市小名浜字辰巳町50
- 休館日=年中無休
- 開館時間  
9:00から17:30 (3月21日～11月30日)  
9:00から17:00 (12月1日～3月20日)
- 入館料=一般1,850円、小～高校生900円、未就学児無料
- 電話=0246-73-2525



ドーム型のガラス屋根が特徴の施設外観

▶「潮目の大水槽」の境目にある三角トンネルはビューポイント

非日常の中で「海」を理解

愛称は、アクアリウム（水族館）とマリニミュージアム（海洋博物館）の組み合わせ。輝く外観と宝石「アクアマリン」の印象を重ねた。

「海を通して人と地球の未来を考える」が基本理念。親潮と黒潮が交わる本県沖の「潮目の海」をテーマに、過去から未来へと進む展示ストーリーを組み立てている。

入館後の順路の始まりは、デボン紀（約三・六億～四・一億年前）など太古の海や生物を紹介するゾーン。「生きた化石」と呼ばれるシーラカンス二種の標本展示を行うのは、世界でここだけだ。

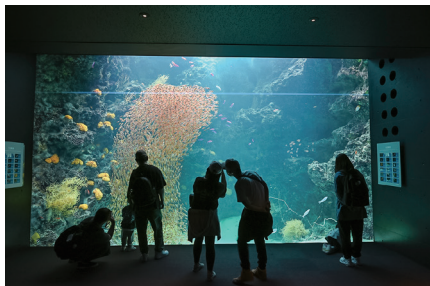
先へ進むと、地元福島や熱帯アジアの環境を再現した水辺、サンゴ礁の海やオホーツク海の生き物たちに出合える。タイムスリップから旅行へ。非日常を楽しみつつ、総合的に海への理解が深まっていく。

見どころは、二～四階の「潮目の大水槽」。ニシンやカレイがいる「親潮」、マグロやイワシがいる「黒潮」の水槽が併設され、容量は計約二千万トン。

二階の「三角トンネル」はガラス張りで、境目に「入れる」ビューポイント。近くには、世界で唯一、巨大水槽を眺めながら舌鼓が打てる。

このほか、世界最大級のタッチプールや子ども体験館などがあり、盛りだくさん。本宮市から何度も訪れているという男性（四三）からは「時間が足りない」との声が上がるほど。時には丸一日かけ、じっくりと回ってみよう。

（鷹）



サンゴ礁の海は、魚たちが色鮮やかで目を引く



食の安全・安心。さらに、おいしい

シーフードケーキ

『御中元・ご予約承り中』

創作かまぼこ **かねまん** 本舗

<https://www.kaneman.net/>  
☎ 0120-17-3360

■本店  
福島県いわき市平下高久字下原83  
TEL.0246-39-3360・FAX.39-3754

■電話・FAX・インターネットでも注文承ります。  
■本店営業時間AM8:00～PM4:00(年中無休)

■いわき・ら・ら・ミュウ店  
福島県いわき市小名浜字辰巳町43-1  
TEL&FAX.0246-53-7125

皆様の幸運を招く  
恵比寿様 大黒様



恵比寿様



大黒様

■オンラインショップ  
[www.kaneman.net](http://www.kaneman.net)  
インターネットでのご注文はこちら▶

